

2022年2月22日
オリオンビール株式会社
沖縄電力株式会社

オリオンビール×沖縄電力 循環型・低炭素社会実現に向けた契約締結について

オリオンビール株式会社（本社：沖縄県豊見城市、代表取締役社長 兼 執行役員社長 CEO 村野 一、以下、「オリオンビール」）と沖縄電力株式会社（本社：沖縄県浦添市、代表取締役社長 社長執行役員 本永 浩之、以下、「沖縄電力」）は、循環型産業と低炭素社会の実現に向けて、沖縄県産の資源を活用した非化石証書を用いて電気の CO₂ 排出量を実質ゼロとする電気料金メニュー「うちな〜CO₂フリーメニュー」の契約を締結しました。

ビール類製造時に発生する廃棄物の 100%再資源化など、循環型産業の実現に向けた取り組みを推進してきたオリオンビール名護工場が、循環型社会の形成につながる本メニューを採用し、実質的に再生可能エネルギー由来の CO₂ フリー電気を使用することで、両社のビジネス促進だけでなく、沖縄の持続的な環境保全の強化に貢献してまいります。



会見の様子

（左から、沖縄電力 取締役 専務執行役員 成底勇人、オリオンビール 生産本部 執行役員 生産本部長 樽岡誠）

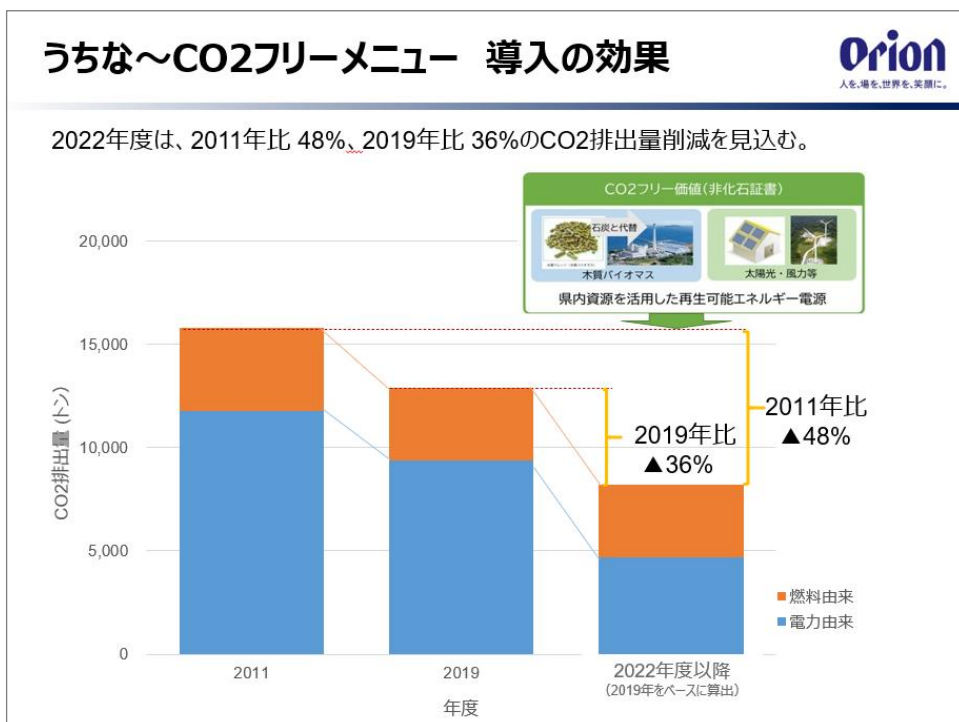
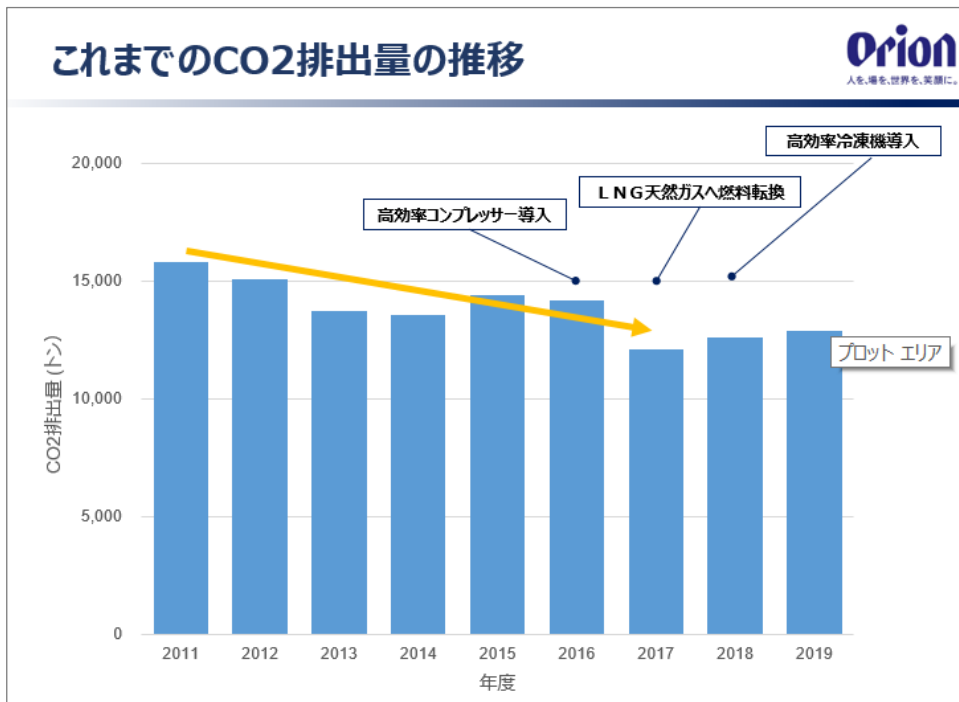
【別紙】オリオンビールのビール製造における低炭素・循環型産業の実現に向けた取り組みおよび
沖縄電力「うちな〜CO₂フリーメニュー」の概要

以上

オリオンビールのビール製造における低炭素・循環型産業の実現に向けた取り組み
および沖縄電力「うちな〜CO2フリーメニュー」の概要

1. オリオンビール ビール製造における低炭素・循環型産業の実現に向けた取り組み

「うちな〜CO2フリーメニュー」の契約締結で、当社工場が利用する電力由来エネルギーの50%が非化石燃料由来となり、実質、工場から排出されるCO₂量が2011年度比48%、2019年度比36%削減されることとなります（2022年度より）。



2. 沖縄電力「うちな〜CO2フリーメニュー」の紹介

うちな〜CO₂フリーメニューの概要

▶対象のお客さま

沖縄電力の供給エリア※において、弊社の電気をお使いの原則として高圧以上の法人のお客さまにご提供いたします。※離島供給約款適用のお客さまは除きます。

▶料金

お客さまの使用電力量に対して、CO₂排出量ゼロの環境価値分を料金として加算します。

▶このようなお客さまにお勧めです



【注釈】

温対法…正式名称「地球温暖化対策の推進に関する法律」。地方公共団体、事業者、国民が一体となって地球温暖化対策に取り組むための枠組みを定めたもの。平成18年4月1日から、温室効果ガスを多量に排出する者（特定排出者）に、自らの温室効果ガスの排出量を算定し、国に報告することが義務付けられた。

RE100…「Renewable Energy 100%」の頭文字を取った言葉で、その名の通り、事業運営を100%再生可能エネルギーで賄うことを目標としている世界の企業の連合のこと。具体的には2050年までに事業活動に使用するエネルギーを、太陽光や風力などの再生可能エネルギーで100%調達することを目標に掲げている。

沖縄県産の資源を活用した再生可能エネルギーとは

太陽光や風力等による再生可能エネルギー



沖縄の自然を活用した太陽光発電・風力発電

建築廃材を活用したバイオマス混焼発電



沖縄県内で発生した建築廃材を細かく砕いて木質ペレットに加工し、石炭の代替燃料として活用

- ▶ 沖縄県内の循環型社会の形成に貢献
- ▶ 石炭の消費を抑制し沖縄県内のCO₂削減に寄与